

「易経は、動いてやまない大自然の理法に従って自己の存在、
仕事、人生を創り上げていく道を明らかにした立命の学問である」

安岡正篤

運命を高める リーダーのための易経講座 「人生に生かす易経の知恵」が閉講



6ヶ月間にわたり、「易経」の教えを分かりやすく解説いただいた竹村亜希子先生。
「致知」の連続講座初の女性講師でした



最終講も熱心に講義に聴き入る
受講者の皆さん

今年二月十二日から毎月一回、KKRホテル東京にて開催してきた
易経研究家竹村亜希子先生による「運命を高めるリーダーのための易経講座」が、
六月十四日(木)の第六講をもって閉講しました。

本講座は「易経」基本概念から始まり、竹
村先生ご自身が二十二歳の時に「易経」に魅
せられるきっかけとなった「乾为天」の節を
中心に、リーダーの進むべき道について学ん
でまいりました。

最終講の今回は、「何のために会社をやる
のか」「理財」「繁辞伝」と題し、企業不祥
事はなぜ起こるのか、起こさないためにリー
ダーはどうあるべきか、「易経」の教えを元
にお話いただきました。最終的には法制度よ
りも、「いい会社にした」というトップの熱
意や志次第である、と締め括られました。

「四書五経」最古の書であり、読み解くに
は難解といわれてきた「易経」も、竹村先生
の身近な例え話を用いながらの解説によっ
て、受講者の方々も深く理解された様子でし
た。「六回の講座を通じて、いま自分が抱え
ている企業経営やコンプライアンスの問題解
決に繋がりました」と言って会場を後にされ
る方が多くいらっしゃいました。

【易経講座を終えて～受講者の一言】

- ・話が分かりやすくて、「易経」がとても身近なものに感じました
- ・「易経」の本を購入して勉強中です。どうも「はまってしまった」感じです
- ・回を重ねるごとにいろいろと分かることが多くなりました。自分のことに当てはめて
考えると、過去のこと、現在のこと、未来のことが興味深く、楽しく見る事ができました
- ・竹村先生は爽やかな女性で、真似したいです！ おもしろくなりかけたところで終わり
とは残念です
- ・自分自身を見つめ直し、雲を伴った飛龍が大空を長期間飛び回るよう努力します。
竹村先生の「いつも潜龍元年」の言葉を忘れません

